

令和元年 7 月 7 日

加藤 昭宏

訪タイ報告書（2 回目）

1 訪問先

タイ・チェンマイ チェンダオ群
リス族の住む村、及び小・中学校

2 日時

令和元年 6 月 27 日（木）～7 月 2 日（火）

3 小学校での聴き取り内容

※今回の訪問に際して、先回の訪問で話が出来た校長先生にアポをとったが、学校にはおらず、他の先生曰く「4 月に他の学校へ行った」とのこと。先生 2 名（うち 1 名は英語を担当する先生）と一緒に給食を食べることができ、以下の話をさせて頂く。

○小学校で何か困っていることはあるか

・飲み水について

飲み水を作る機械が大量の砂の影響で使えない。子ども達は自身の家から飲み水を持ってこないといけない。

・電気について

都市部に大量に雨が降ると、小学校も 2,3 日電気が使えなくなることがある。自身（先生）としても、その理由は不明である。

・生活習慣等について

ドラッグ、喫煙、ギャンブルをしている子どももいる（真偽は不明）。

（リス族の文化なのか）先生に対して、挨拶をしない児もいる。

人が亡くなると、近隣の人が家に集まり、夜な夜なカードゲームをする習慣がある。それにより、その後 2 日程、生徒が学校へ来ないことがある（眠いから）。親としても、それを良しとしていることも問題であると感じている。

大体の子どもは 15,6 歳で結婚する。子どもらにとって仕事は重要ではなく、高校、大学へ進学する子はあまりいない。警察になりたい、医師になりたい、という子どもたまにいたるが、先生になりたいという子どもはあまりいない。

○日本から何が出来るかについて

・自身（加藤）の経験や、日本の文化を話すことで、「子ども達の世界が広がる」

日本から出来ることについて、先生らと協議。先生からは「日本での経験や文化を話してもらえると、子ども達の世界が広がると思う。例えば、何を食べているか、どんな服を着てどんな家に住んでいるか。どんな文化で、どんな生活をしているか。また日本の遊園地や、富士山なども知りたいのではないか」とのこと。

⇒協議の結果、次回訪問時、子ども達へ話をする時間を設けていただくこととなる。

4 今後について

・ 次回の訪問について

可能であれば、今年度中に再度訪問し、現在の先生が変わらない内に、第一回目の授業を行いたい。

その為に、日本の状況等を伝えられるような教材として写真、動画等を作りたい。また英語の原稿を作り、わかりやすく伝えられる準備をしたい（授業当日は、現地の先生が英語からタイ語へ通訳をしてくださる予定）。

・ NGO 立上げについて

次回訪問（またはその次の訪問）までに NGO を立上げたい。NGO の活動として本活動を周知し、日本から物資等（例えば日本の漫画キャラクターのぬいぐるみ）を集める等し、加藤個人の活動ではなく、団体間同士のつながりをつくりたい。

・ 小学校との連携

数年先の話とはなるが、長久手市内の小学校（例えば西小学校）と現地の小学校をつなぐこと（交流を行う、物資を西小で集め現地へ送る、西小児童からのメッセージ動画を撮影し見ていただく、等）を検討していきたい。

・ 大学科研費の申請

活動の継続性の確保の為、科研費を申請したい。

5 その他

○今回、確認できたこと。

- ・ チェンマイからバスで小学校まで行く方法（バス停の場所、チケットの購入方法等）。
- ・ チェンマイ付近の病院、警察の場所。空港からアクセスのしやすいホテル。
- ・ チェンマイ旧市街地の凡その地理的状況。移動手段。
- ・ チェンダオ周辺（小学校から1番近いマーケット：約30Km離れている）の状況。
- ・ チェンダオ・チェンマイ付近の観光地等（市場、寺院、温泉、タイカレー屋さん、他）。

以下、写真



話のできた英語の先生



学校。山の中にある（写真：上）。図書館。子ども達は絵を描いていた（写真：下）。



日本の漫画（写真：下）。先生曰く「日本の漫画を通して日本のことは知っているが、それは『リアル』ではない」。子ども達も、自分が日本人と知り「ルフィー！」と叫んでいた。ホテルのバスマットにも「ドラえもん」が。アニメを通じた交流も検討可能。





スクールバス (写真: 上)。子ども達の笑顔に癒される。一月 100 バーツ (約 370 円)。お金がない家は徒歩で通う。学校までは山道を 1.5Km。歩いてみたが、やや遠い。



チェンマイ→小学校までのバスのチケット購入売り場 (写真: 左上)。同行頂いたタイ人の方にチケットの購入方法を伺う。1日4便出ているとのこと (写真: 左上)。バス (写真: 左下) とバス停 (写真: 右下)。162 バーツで移動可能 (約 600 円)。



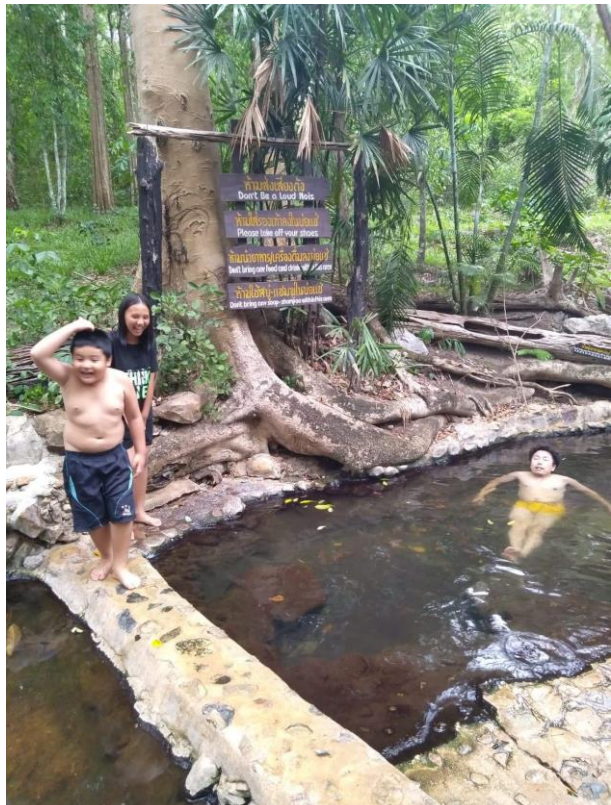


小学校周辺のホテル（小学校から約 35 km）からチェンマイまでの移動にて乗ったバス（写真：上）。40 バーツ（約 150 円）。



タイカレー（イエローカレー）（写真：左上）とゲーンハンレー（タイ北部の名物、豚肉のカレー）（写真：右上）。
チェンマイ旧市街地にて。

チェンダオ付近の温泉。隣には
温水プールもあり気持ち良かった。
写真は、同行頂いたタイ人のご
家族。





ホテル（チェンマイ）周辺の公園。

ここまでお付き合い頂き、
ありがとうございました。

加藤 昭宏